

## 次期男女共同参画せんだいプラン策定に向けた市民参加の取り組みについて

## 1 目的

次期男女共同参画せんだいプランの策定に向けて、男女共同参画推進に係るさまざまな立場の方と意見交換を行い、現状や課題、提言について把握するもの。

## 2 時期・回数

令和元年9月～11月（全3回）

## 3 内容

## （1）「新総合計画に仙台の女性たちが声を届けるプロジェクト」

仙台市新総合計画（2021年度～2030年度）の策定機会を捉え、仙台市の企業や地域で活躍する女性たちが政策提言を行う活動に際して、グループワークの中で挙げられたさまざまな意見の中から、男女共同参画の視点に立ったものを抽出したもの。

日時：令和元年9月14日（土）13：30～16：30

場所：仙台市男女共同参画推進センター（エル・パーク仙台）

参加者：仙台女性リーダー・トレーニングプログラム参加者、防災・まちづくり女性人材育成プログラム（決める・動く）参加者、財団講座参加者 他（35名）

## 【グループワークで挙げられた市民意見概要】

※「男女共同参画せんだいプラン 2016」（平成28年度～令和2年度）の計画体系の柱に掲げる6つの基本目標の 카테고리毎に、「現状・課題」と「目指したい姿」の意見を分類したもの

基本目標	現状・課題	目指したい姿
① 政策・方針決定過程への女性の参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性で仕事上の発言力の強い人が少ない。</li> <li>管理的立場に女性が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意思決定の場を男女同率にする。</li> <li>市議会議員が男女同数。</li> <li>女性町内会長の育成。</li> <li>仙台で働く女性のネットワークをつくる。</li> <li>市が企業に見本を示していく。</li> </ul>
② 男女共同参画への理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>性別による固定的役割分担意識が解消されない。</li> <li>男女同権教育が必要。セクハラ研修の実施やお茶汲み等の固定的役割分担の強要がない社会が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校での人権教育・多様性を認め合う教育の実施。</li> <li>男女同権を社会や家庭の中へ浸透させる。（子どもたち世代は変わってきている。）</li> </ul>
③ 男女の仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>父親の学校行事への参加が増え、徐々に変化してきている。</li> <li>若い世代、子育て世代が暮らしづらい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事と子育て、地域活動が両立できるまちづくり。</li> <li>子どもが安心して育つことができるまちづくり。</li> </ul>

基本目標	現状・課題	目指したい姿
(前頁からの続き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>親の介護が増え、実感として女性の負担が大きい。それが女性の社会参画を阻害している。</li> <li>独身男女が増加し、親の介護の問題や少子化の問題が深化。</li> <li>PTA・子ども会・町内会とも従来からの「家にいる人」がモデルになっている。</li> <li>残業が多く、休みを取りにくい風潮。帰ってから時間の過ごし方に悩む年齢が高い男性の存在。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「家のこと≠女性がやる」社会。</li> <li>定時で帰る働き方。家庭や趣味、町内会などのまちづくりへの参画。</li> <li>男性も女性も早く帰る人が増える。</li> <li>働き方のトレンドを発信できる企業の育成。</li> </ul>
④ 男女が共にいきいきと働ける労働環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い働く女性の視点、活躍できる場が都市を維持していく上で必要。</li> <li>大学は充実しており、若者は集まっているが、就職に伴って仙台を離れていく人が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>働く女性を増やす。</li> <li>女性も含めた起業支援。</li> <li>起業や子育て中の女性への病児保育の充実。</li> <li>子育てや女性が一人でも生きていける魅力的な働き場所がある。</li> <li>学生が定住できるまちづくり。</li> <li>多様な職業、仕事がたくさんある。</li> <li>ロールモデルとして、発言権のある立場にある女性を増やし、学生に選んでもらえるまちづくりを進める。</li> </ul>
⑤ 女性に対する暴力の根絶・生涯を通じた健康支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>性別による固定的役割分担意識が解消されない。(再掲)</li> <li>男女同権教育が必要。セクハラ研修の実施やお茶汲み等の固定的役割分担の強要がない社会が必要。(再掲)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校での人権教育・多様性を認め合う教育の実施。(再掲)</li> <li>男女同権を社会や家庭の中へ浸透させる。(子どもたち世代は変わってきている。)(再掲)</li> </ul>
⑥ 復興・未来へつながるまちづくりにおける男女共同参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの虐待など、相談に結びついていない子育て世帯、母親が孤立している世帯、ひとり親世帯への支援が必要。</li> <li>ひとり親世帯の増加。子どもの貧困の問題。</li> <li>性的マイノリティ者のトイレ、着替えスペースの不足(震災で顕著)。</li> <li>防災意識が薄れてきている。</li> <li>地域のコミュニケーションの希薄化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子家庭への支援の充実。</li> <li>働き方、性別、年齢、障害の有無、国籍・文化問わず多様性を認め合う社会の実現。</li> <li>多様性を認め合う思考のリーダーがいる。</li> <li>災害に強い、誰もがリーダーになれるまちづくり。</li> <li>持続可能な都市づくり。</li> </ul>

※新総合計画に対する政策提言については、全5回の討議の上、11月23日(土)の「男女共同参画推進せんだいフォーラム2019」の中で発表される予定。

## (2) 「市民まちづくりフォーラム～みんなのせんだい未来づくり 2019～」

仙台市実施計画の進捗管理及び新総合計画の策定に向けて市民意見を伺うフォーラムにおいて、8つのテーマの一つとして「働きやすい環境づくり」を設定。若者の地元定着やUIJターン就職の促進に向けた施策とともに女性活躍を推進するための取り組みについて紹介し、現状の課題と今後の取り組みについてグループワークを通じて議論を行ったもの。

日時：令和元年10月14日（月・祝）13：00～16：30

場所：仙台国際センター

参加者：一般市民（参加総数114名、うち当該テーマには18名が参加）

### 【グループワークで挙げられた市民意見概要】

※「男女共同参画せんだいプラン2016」（平成28年度～令和2年度）の計画体系の柱に掲げる、6つの基本目標中、「4. 男女が共にいきいきと働ける労働環境づくり」を中心に「現状・課題」と「未来への取り組み（提言）」の意見を分類したもの

区分	意見
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・働く女性の活躍推進について、関東圏ではスタンダード化しているのに対し、東北地方が一步遅れている印象。意識啓発やセミナー開催等の段階から、次のステップに移行し、より具体的なアプローチや積極的な施策が必要。それが、若者の地元定着にもつながる。</li><li>・女性の社会進出には男性への啓発が必要。</li><li>・医療現場や保育所等の女性労働者が多い職場において、産育休代替職員が不足し、働きにくい現状がある。欠員の長期化が新たな離職や家庭内不和を生みかねない。産育休代替職員への処遇改善が必要。</li><li>・介護休暇の取得でも産育休と同様の現象が生じている。</li><li>・労働に係る諸問題についての相談窓口情報が不足。（市民が分かるようにしてほしい）</li></ul>
未来への取り組み（提言）	<ul style="list-style-type: none"><li>・女性の社会進出に関する男性向けの研修支援</li><li>・男女問わない男女共同参画に関するセミナー・交流会の開催（個人向け・企業向け）</li><li>・女性に限らないリーダートレーニング・役員研修</li><li>・子育て世代の女性の就労支援の充実（グループ採用やモデル事業等の提示）</li><li>・保育士等の労働環境の改善</li><li>・産育休代替職員の雇用契約に係る見直し</li><li>・企業内保育所等子育て支援の充実</li><li>・女性専用・特有の悩み・弁護士等相談窓口の増設・周知広報の充実</li><li>・企業におけるハラスメント対策の充実、男女格差を無くす環境づくり</li><li>・就職活動中に学生に対する女性活躍などに取り組む企業に対しての認定等の見える化</li><li>・定時退庁ありきではない業務効率化による働き方改革の理解促進</li><li>・有給取得率100%、長期休暇の推奨</li><li>・多様な働き方が可能な労働環境</li></ul>

### **(3) 「男女共同参画推進せんだいフォーラム 2019」**

「聴かせて！参画プランへのメッセージ」と題して、次期男女共同参画せんだいプランの策定に向けた現状の課題と今後の施策に対する期待（要望）を伺う対話型展示企画を実施。

「あなたが次期プランに期待すること」を付箋紙に記入いただき、ホワイトボード等に貼付・展示し、参加者と情報共有する。

**日時：**令和元年 11 月 23 日（土・祝）・24 日（日） 各日 12：00～16：00

**場所：**仙台市男女共同参画推進センター（エル・パーク仙台）

**参加者：**一般市民、仙台市男女共同参画推進センター（エル・パーク仙台、エル・ソーラ仙台）を拠点に活動する市民グループ